セラプラス™
*リモイス技術使用

Hollister Education™

症例報告 14

要旨
ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています[1]。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です[2]。この症例報告で、そのような症例の 1 つをご報告します。

目的
患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の健康を維持すること。

背景
患者は入院中に病院の医療チームから WOCN を紹介されました。

患者の概要
患者は活動的な 68 歳の女性で、潰瘍性大腸炎により回腸ストーマ造設を受けました。ストーマを造設して 3 年になり、ほぼ 3 年間ずっと、ストーマ周囲の皮膚の右側に潰瘍ができて治療しています。

問題
患者は入院中に WOCN を紹介されました。評価の結果、8 時の位置に潰瘍が認められ、この位置はベルトをストーマ装具に接続している場所と一致しました。18 か月前に、壊疽性膿皮症の診断を受け、免疫抑制剤の投与が開始されました。また、潰瘍の周囲に刺激性接触皮膚炎も患っていました。ストーマは、腹部の膨らみの近くにありました（写真 1）。自信を持ってより多くの社会活動に参加できるストーマ装具を希望していました。

ケアの実際
当初、患者は単品系硬性凸面装具（長期装着用・フリーカット）。潰瘍のある部分にはアルギン酸塩とハイドロコロイドドレッシングを貼っていました。ベルトは最初の評価後に使用を中止しました。潰瘍のある場所からの漏れが続き、刺激性接触皮膚炎を発症しました（写真 2）。潰瘍形成の上に過剰肉芽組織も認められ、焼灼剤を塗布しました。

凸面は腹部に対して硬すぎる可能性があったため、単品系平面装具（長期装着用・フリーカット）と用手成形皮膚保護剤に切り替えました。潰瘍にはアルギン酸塩とハイドロコロイドドレッシングを引き続き貼り、ストーマパウダーと皮膚被膜剤を刺激性接触皮膚炎の部分に使用しました。患者は毎日装具を交換しました。

裏に続く

写真 1 周囲に炎症を伴う、ストーマ周囲の皮膚の 8 時の位置にある潰瘍形成。皮膚の膨らみのひだの横にあるストーマ。

写真 2 潰瘍が刺激性接触皮膚炎を引き起こしている場所からの漏れ。

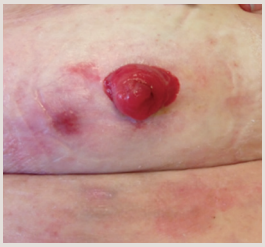

写真 3 11 週間後に改善が見られたストーマ周囲の皮膚。

セラプラス™
*リモイス技術使用

著者および略歴:

Michelle
Wenzel、MSN、FNP-BC、CWON
Unity Point Health – St. Luke's Hospital
アイオワ州シーダーラピッズ、米国

症例報告 14

WOCN によるケアを始めて 3 週間後、「モデルマフレックス セラプラス ロックンロール (フリーカット)」と用手成形皮膚保護剤に切り替えました。コラーゲン含有被覆材を潰瘍に貼り、アルギン酸塩とハイドロコロイドドレッシングで覆いました。刺激性接触皮膚炎の部分にはストーマパウダーと皮膚被膜剤を引き続き使用しました。また、凝固剤も使い始めました。患者は 1 日おきにストーマ装具を交換することができました。

10 週間後、腹部を平らにし、ストーマがより突出するように、タブのない特殊なベルトを注文しました。患者はベルトを着用することに慣れていたので、このベルトは患者に安心感も与えました。

結果
11 週間の綿密なフォローアップと、セラプラス製品の使用を含む複数の看護介入の後、創傷は治癒し、ストーマ装具からの漏れはなくなりました(写真3)。これまでストーマ装具に感じていた不安が解消され、装着期間を少なくとも 3 日間にすることができるようになりました。

結論
ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れています[3]。幸いにも、この患者は助けを求め、問題は解決しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマの周囲に適切に密着させ、漏れを防ぐだけでは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に保つのに十分ではない場合があります。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.*J Wound Ostomy Continence Nurs.34(1):70.2007.

2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE.*Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage:A Population Based Cost Modeling Study.*PLoS ONE.2012; 7(5):e37813.

3. Whiteley IA and Sinclair G *A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.*World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「モデルマフレックス セラプラス ロックンロール (フリーカット)」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者に適応となるとは限りません。

Remois

*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。

CE すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホリスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated

Hollister

Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com